



令和2年4月13日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第2号

8名の新入生の皆さん 入学おめでとうございます



## 誓いの言葉

春うらかな今日の佳き日、私たち8名は、希望と不安を胸に蒲刈中学校の門をくぐりました。これから始まる中学校生活では、部活動や委員会など、初めてのことがたくさんありますが、これまでに学んできたことを生かして、精いっぱいがんばっていきます。

学習面では、自主勉強を積極的にし、予習をしっかりとしていきます。部活動では、しっかりと練習をし、先輩方についていけるようにがんばりたいです。

先生方、上級生のみなさんに、たくさんの事を教えてもらい、お世話になったりしながら、勉強や部活動がんばっていきたくと思います。

私たちはこれから、明るく充実した中学校生活を送ることができるようがんばっていきます。

令和2年4月8日

新入生代表 兼田 渚彩

## 【令和2年度 第18回入学式 式辞】

8名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。一人一人、学級担任の先生から呼名され、返事・起立した姿と引き締まった表情を見て、今日から始まる中学校生活に向かう意気込みをしっかりと感じる事ができました。蒲刈中学校の生徒として、これからどんな成長を見せてくれるのか、みなさんの活躍が楽しみでなりません。

中学校は小学校と違い、3年後には自分の道を獲得し、進んでいかなければなりません。3年後の自分の進む道は、10年後、20年後の自分の人生とも大きく関係しています。そのため、大切な中学生の時期を有意義に過ごすための心得についてお話ししたいと思います。

蒲刈中学校の「未来を切り拓く生徒の育成」という学校教育目標を意識することです。未来を自分の力で切り拓くためには、様々な力が必要です。学力や体力はもちろん、様々な体験から培った人間性も大切です。そのため、もっとも多くの時間である授業、楽しみにしている部活動、そして、仲間と過ごす生活を大切にしてください。

特に、新入生の皆様は、3年生になったとき広島県の公立高校入試が大きく変わります。広島県の15歳の生徒に付けて欲しい力は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」と言われています。この力は、学校教育目標の「未来を切り拓く力」に大きく関わっています。

「未来を切り拓く力」は、授業、部活動、学校生活での様々な経験から身に付きます。そして、力を付けるためには「夢」を必ずもってください。「夢」をもつことは、人生を切り拓く原動力になります。どんな「夢」をもつかによって、これからの「生き方」が決まります。「夢」は、プロ野球選手でもパティシエでも何でもいいのです。ただし、もっと大切なのは「なぜそうなりたいか」を考えることです。

考えることで自分の興味や関心など自分自身が見えてきます。これを自己を認識すると言います。自分自身が見えてくると、やりたいことが見えてきます。これで自分の人生を選択できるようになります。

そして、自分の中で思うだけでなく、自分の考えや「夢」を語ってください。当然、一方的に言うだけでなく仲間の考えや「夢」もしっかり聞いて受け止めることで、「夢」は実現可能な方向に向かいます。下蒲刈中学校が閉校となったことで、蒲刈中学校の仲間や先生方は増えました。今まで以上に切磋琢磨できるようになりました。「互いに認め合い、高めあう学校」になるよう、同級生や先輩、先生方と仲良く楽しく充実した一日一日を過ごしてください。

私たち教職員は、生徒の限りない可能性を信じ、生徒の力を最大限伸ばすよう、全力を挙げて教育活動に邁進していく覚悟です。本日より、大切なお子様を責任を持ってお預かりいたします。お子様一人一人を社会に通用し、貢献できる立派な人間へと育成していくために、学校はご家庭としっかり連携し、地域の方々のご支援をいただきながら、教育を推進してまいりますので、よろしく願いいたします。

令和2年4月8日 呉市立蒲刈中学校長 柿林 浩彦

## 校長室より

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、呉市教育委員会との連携のもと、生徒及び学校関係者の健康・安全を第一に考え、当面の行事では、PTA総会・授業参観、小中合同遠足、小中合同運動会を中止します。なお、学校内におきましては、マスクの着用、教室の換気・消毒、定期的な手洗いなどを行い、また、「3密」にならないよう指導しております。